

6. オペレーショナル・リスクに関する事項

オペレーショナル・リスクとは、狭義には、事務ミス、システム障害等により、損失を被るリスクを指し、広義には、前記のほか従業員の不正、コンプライアンス態勢の不備、災害等によりオペレーションが中断して被る損失、さらにそれらに伴う評判低下、訴訟等を受けるリスクのことを指します。

(1) リスク管理の方針及び手続の概要

オペレーショナル・リスクは、業務運営上、可能な限り回避すべきリスクであります。当金庫では、オペレーショナル・リスクについて、事務リスク、システムリスク、法務リスク、風評リスクの各リスクを含む幅広いリスクと考え、管理体制や管理方法に関するリスク管理の基本方針を定め、リスクの顕在化の未然防止及び発生時の影響度の極小化に努めています。

リスクの計測に関しましては、当面、バーゼルⅡにおける基礎的手法を採用することとし、態勢を整備しております。

また、これらリスクに関しましては、各主管部署において、協議・検討するとともに、必要に応じて常務理事会を通じ、理事会に報告する態勢としております。

(2) オペレーショナル・リスク相当額の算出に使用する手法の名称

オペレーショナル・リスク相当額の計算にあたっては、基礎的手法を採用し、1年間の粗利益に15%を乗じた額の直近3年間の平均値をオペレーショナル・リスク相当額としております。

なお、同手法に基づく平成19年3月期のオペレーショナル・リスク相当額は、218百万円であります。

7. 銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

(1) 出資等エクスポージャーの貸借対照表計上額等

(単位：百万円)

区 分		売買目的有価証券		その他有価証券で時価のあるもの				
		貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
上場株式等	平成18年3月期	—	—	934	1,263	328	328	—
	平成19年3月期	—	—	565	623	58	67	8
非上場株式等	平成18年3月期	—	—	—	—	—	—	—
	平成19年3月期	—	—	10	9	△ 0	—	0
合 計	平成18年3月期	—	—	934	1,263	328	328	—
	平成19年3月期	—	—	575	633	58	67	9

(単位：百万円)

区 分		その他有価証券で時価のないもの等
		貸借対照表計上額
上場株式等	平成18年3月期	—
	平成19年3月期	—
非上場株式等	平成18年3月期	149
	平成19年3月期	149

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「非上場株式等」は、非上場株式のほか、信金中央金庫出資金、投資事業有限責任組合出資持分等です。
 3. 投資信託の裏付け資産のうち「出資等エクスポージャー」に該当するものは、上場株式等を含めております。

(2) 子会社株式の貸借対照表計上額等

(単位：百万円)

区 分		貸借対照表計上額	時価	差 額	うち益		うち損	
					うち益	うち損		
子会社・子法人等株式	平成18年3月期	10	—	—	—	—	—	—
	平成19年3月期	10	—	—	—	—	—	—

(3) 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

区 分		売却額			株式等償却
		売却益	売却損		
出資等エクスポージャー	平成18年3月期	943	43	14	—
	平成19年3月期	409	80	0	—